

【担当教員名】 ○林	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康ス
	開講時期	後期	必修・選択	必修・必修・必修・選択
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

内科学Ⅰで学んだ内容を基礎として、主たる内科疾患を学ぶ。また、その応用として、老年学や老年期に特有な疾患の知識を習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

内科系の疾患数は膨大であり、このすべてをこの授業で理解するのは不可能である。各職種が臨床の場においてよく遭遇する疾患や、処置に注意を要する疾患について、その基礎知識を身に付けることを目標とする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1 内科 1	循環器疾患Ⅰ（先天性心疾患と後天性心疾患）	講義	（林）
2 内科 2	循環器疾患Ⅱ（刺激伝導系の異常と不整脈、心電図）	講義	（林）
3 内科 3	循環器疾患Ⅲ（心電図の見方；危険な不整脈、虚血性心疾患）	講義	（林）
4 内科 4	呼吸器疾患	講義	（林）
5 内科 5	消化器疾患 1 消化管疾患	講義	（林）
6 内科 6	消化器疾患 2 肝臓・胆管系、脾臓疾患	講義	（林）
7 内科 7	腎、泌尿器系疾患、電解質異常	講義	（林）
8 内科 8	内分泌・代謝疾患	講義	（林）
9 内科 9	血液疾患	講義	（林）
10 老年病学 1	老化とは、老年者の疾患の特異性	講義	（林）
11 老年病学 2	高齢者の循環器・呼吸器疾患	講義	（林）
12 老年病学 3	高齢者の消化器・腎泌尿器系疾患、電解質異常、血液疾患	講義	（林）
13 老年病学 4	高齢者の免疫・感染症、内分泌・代謝異常、運動器疾患	講義	（林）
14 老年病学 5	高齢者の感覚器障害、皮膚疾患、精神疾患	講義	（林）

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	オリジナル			
参考書	ナースの内科学（5版）	越川昭三（編）	中外医学社	2001年 8000円
その他の資料	プリントで配布する。			

【評価方法】 試験のみ	【履修上の留意点】 なお、理学・作業学科は、内科学Ⅰ・Ⅱを合わせ、内科学（4単位）として評価する。
----------------	--